

<外来感染対策向上加算><サーベイランス強化加算><連携強化加算>

当院は、種々の感染症に対しての感染防止対策に職員が一体となって積極的に取り組んでいます。感染防止対策のマニュアルや感染症発生時の手順書などを作成、地域で流行している感染症の日々の共有、感染症や予防接種に対する定期的な院内会合の開催、そして感染症に関する研修会や学会などにも積極的に参加しています。特に漫然とした抗菌薬の使用は慎み、その使用には細心の注意を払っています。地域の基幹病院（関西医科大学総合医療センター）と連携し、基幹病院が開催する年2回の感染症に関する研修会を受講しています。

このような当院の取り組みに対して、「外来感染対策向上加算」を申請し承認をされました。

また、耐性菌抑制の観点および小児への漫然とした抗生剤使用に対して厳格に対応すべく、当院での毎月の抗生剤使用状況を地域や全国のサーベイランス調査機関（OASCIS）に登録することで自己研鑽にも取り組んでおり、「サーベイランス強化加算」も認定されました。

更に、抗生剤の使用については、使用した抗生剤の種類、疾患名、使用量などについて連携基幹病院に年4回報告し指導や助言を受ける体制も構築したことに対して、「連携強化加算」も承認されています。